

国境を越える欲望
—中国本土におけるジャニーズファンの調査—

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
対人援助学領域
家族機能・社会臨床クラスター
馬 潔 (Ma Jie)

本研究の対象は現在中国本土に住んでいる中国本土出身のジャニーズファンに限られている。日中関係が悪化しても、中国のファンは変わらずに様々な形式で日本のジャニーズアイドルを応援している。この矛盾する現状に、中国のジャニーズファンは何に突き動かされるにより、日本アイドル及び日本文化への受容ができるのか。日本のジャニーズアイドルのことはどのようなルートを通し、中国のファンに伝達しているのか。この応援は中国本土でどの形で行われているのか。以上のようなことを判明する事を目的とした。

本研究では、アンケートとインタビューの調査を両方行い、それらの結果により、今日の中国本土のジャニーズファンに共通する行動パターンを「ファンモデル」としてまとめていた。ファンたちはいくつの共通する理由により、個人やグループのジャニーズアイドルを好きになり、様々なファン活動が行われている。ファン活動する際に、ファン同士を求めていく。ファン同士の付き合いのため、一緒により多くのファン活動するようになり、ジャニーズアイドルの好きな気持ちはますます強化される。一方、ファン活動をしながら、現実の日本のことを知るようになり、日本への憧れが高まって日本への印象もよくなる。好きになる理由では、外見からジャニーズアイドルを好きになるパターンが多いが、日本ドラマはより効果的に働いている。アイドルにとって、外見や実力が重要であるが、人柄や努力や「アイドル」ぶりはファンを長く引き付ける役割を果たしている。そして、伝達ルートとしてのネットの拡散力が非常に強い。ネットで拡散された不法流通物としての各種の資源は政治や経済を越え、ファンたちの愛情があれば、見たいや知りたいという欲求があれば、国境を越えていく。更に、中国のファンは日本のファンのファン活動との共通性と違いを比較し、ファン同士間の相互影響を考察した。中国のジャニーズファンは日本についての憧れと自分の中国人としてのアイデンティティに矛盾している。そのため、中国のファンたちは関心がなくても、日中関係について、自分なりの考えがもっている。この政治と国交での制限にファン活動が様々な影響を受けても、ファンたちは好きなことを続けるのが自らの知性的選択となる。日韓と比べると、中国自身のアイドル産業の欠如が明らかにした。最後、ファンにとって、アイドルは消費される商品でなく、虚像でもあり、実在の努力する人間でもあり、ファンの憧れ像に対する欲求を満たす存在である。そのため、中国のファンは、たとえ政治や国問題にもたらした葛藤があっても、経済的・時間的な資本がかかっても、空間的に離れていても、ジャニーズアイドルを求めていくことが分かった。